

# 静岡県農業農村整備みらいプラン

2022 ▶ 2025



## 農の営みと暮らしの調和の実現

デジタル化の進展や田園回帰志向の高まり、脱炭素社会の構築等の社会情勢を踏まえ、農業施策と農村施策を総合的に推進することで、農業の成長産業化と農村の活性化を実現するための農業農村整備計画を策定しました

静岡県経済産業部農地局



## 農業農村整備みらいプラン 2022-2025

～持続可能な活力ある農業・農村を目指して～

少子高齢化・人口減少による農業者の減少が、本県においても加速度的に進行しており、この10年間で農業経営体数は34%も減少したほか、農地面積も約6,700ha、9.5%も減少しています。また、本県特産の茶の産出額は10年前と比べ約4割減少しているなど、農業産出額も全体的に減少傾向となっています。

こうした本県の農業・農村が直面する課題に対応するためには、担い手への農地の集積・集約化や生産コストを削減する農業生産基盤の整備を推進していくことが必要ですが、農村は、生産と生活の場が一体となっていることから、農村コミュニティを強化し、地域資源の保全管理が適切に行われるよう支援していくことが重要です。

このため、新たな「**農業農村整備みらいプラン2022-2025**」では、基本方針を「**農の営みと暮らしの調和の実現**」と定め、産業政策である「**農の営み**」と地域政策である「**農の暮らし**」を2本の柱として位置づけることで、施策の展開方向を明確化しました。

そして、デジタル技術の進展や田園回帰志向の高まりに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大や地球規模の気候変動による自然災害の激甚化・頻発化など、これまでに経験したことのない大きな変化に対応するため、これからの4年間で『**挑戦期**』と位置付け、理念を実現するための5つの重点戦略を実施していくこととしています。

さらには、この2つの施策を調和する「**産業との共生**」「**環境との共生**」「**地域との共生**」を実行することで、持続可能な活力ある農業・農村を実現することを目指しています。



# ふじのくに美しく品格のある農村の創造

～誰もが、住みたい、訪れたい、選ばれる しずおかの農村～

本県の農村は、富士山や広大な茶園をはじめとする美しい景観や多彩な農林水産物に恵まれているなど、魅力ある地域資源にあふれています。大都市からのアクセスも良好なことから、移住希望地ランキングにおいて2年連続で全国1位（NPOふるさと回帰支援センター：2020年、2021年）になるなど、誰からも憧れられる高いポテンシャルを有しています。

これからも、誰もが、住みたい、訪れたいと、多くの人から選ばれる農村であり続けるためには、農村人口の減少や農村集落機能の低下が今後も続いていくという大きな課題を受け止めたうえで、10年後の目指す姿を考え、しずおかの農村の持続性を高めるための施策に取り組んでいくことが重要です。

## 10年後の目指す姿

### 美しいしずおかの農村

農村を愛する多くの人々が参画するふじのくに美農里プロジェクト等の地域ぐるみの活動により、農地や農業用施設等の地域資源が適切に保全管理されるとともに、景観形成にも積極的に取り組み、農村の魅力を増大させることで、住む人、訪れる人の心をいやす美しい農村

### 活力のあるしずおかの農村

都市住民や企業など、農村に関心のある多くの人々や、そこで農業を営む外部からの担い手との連携を深化するマッチングの仕組みを強化し、農村協働力を高めることで、地域活動や行事が活発に行われるとともに、基幹産業である農業が地域経済を牽引する活力のある農村

### 安心なしずおかの農村

農を営む人、住む人、訪れる人が安心して暮らせる条件整備として、集落道や防災施設等の農村インフラの強化が進んでいるとともに、田んぼダム等の流域治水の取組や多面的機能の発揮を促進するための農地保全活動に主体的に取り組むなど、ハード・ソフト両面で災害に強い安心な農村

### ハイテクなしずおかの農村

農村人口の減少による労働力不足に対応するため、用水管理の自動化や排水機場の遠隔監視・制御化、UAVによる施設管理等の最新技術を市町・土地改良区等と連携し、積極的に取り入れ、生産性が高く持続的な農業を実現するとともに、施設の維持管理の省力化が進んでいるハイテクな農村

## 農村における『品格』とは

農村は、美しい景観や自然環境を育み、長い年月の中で築かれてきた伝統文化や行事を継承するなど、有形・無形の価値ある資源で形成されています。

これらの農村の資源は、先祖たちが、住民総出により農耕や暮らしの土台をつくり、農の営みにより保全・管理され、今日に至るまで守られてきました。

この貴重な資源を、将来にわたり維持・発展させていくためには、農村の美しさと価値を理解し、そして先祖の偉業に思いを馳せ、様々な活動に主体的かつ意欲的に取り組む私たちの品格ある行動が重要だと考えます。



# 農の営みと暮らしの調和の実現

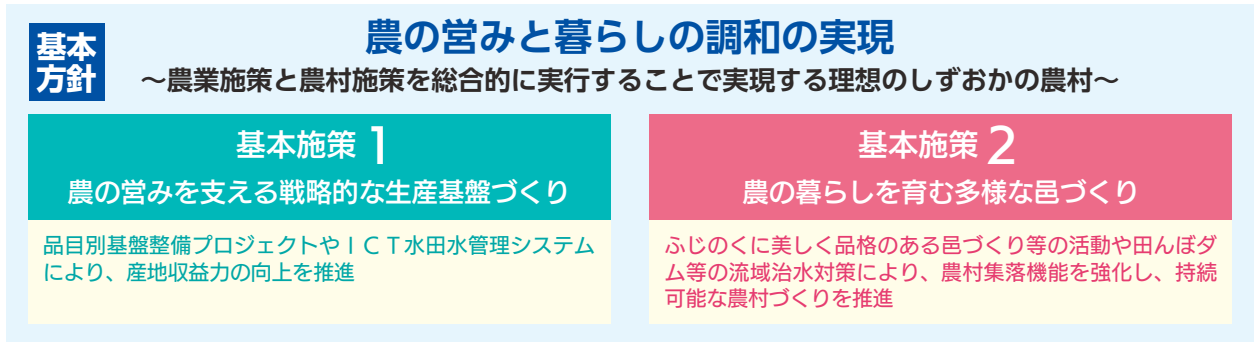
～ 農業施策と農村施策を総合的に実行することで実現する理想のしずおかの農村～

農業者の労働力不足や農村集落機能の低下が急激なスピードで進行するなど、新しい時代への対応が求められている中で、高収益作物への転換やデジタル技術を駆使したスマート農業の実装化に対応した基盤整備など、農業の成長産業化に向けた新たな農業施策を強力に推進することが求められています。

しかし、過度に農業の生産性を追求した政策は、農業や農業用施設に関わる人を減少させるとともに、地域の働く場やコミュニティ形成の場を喪失させ、地域の人口減少をさらに招き、集落の維持・発展をますます阻害することが懸念されます。

このため、新たなプランの基本方針では、産業政策である『農の営みを支える戦略的な生産基盤づくり』と地域政策である『農の暮らしを育む多様な邑づくり』の2本柱で構成することにより、集中的に講じていく施策を明確化するとともに、調和策を実行することで、より良い農業、より良い暮らしを実現していくことを目指しています。

## 施策の体系



**重点戦略 I**  
茶・柑橘等の産地収益力を強化する基盤整備の推進

KPI 累計1,659ha  
品目別基盤整備プロジェクトの整備面積



**重点戦略 II**  
ICT等の新技術を活用したスマート農業の推進

KPI 累計350ha  
ICT水田水管理システムの実装化面積



**重点戦略 III**  
農地・農業用施設の保全と管理体制の強化

KPI 累計82施設  
基幹農業水利施設の更新整備数



**重点戦略 IV**  
関係人口の拡大による農村集落機能の強化

KPI 87,600人  
美しく品格のある邑づくりの参画者数



**重点戦略 V**  
農地・農業用施設の防災・減災対策による県土強靱化

KPI 累計346箇所  
防災重点農業用ため池の整備数



### 農業施策

### 農村施策

**調和策** **調和の視点**  
本プランでは、農業施策と農村施策を調和する新たな取組の視点として、農業の成長産業化を推進しつつ、農村コミュニティや環境の維持・強化を図っていくため、産業・環境・地域コミュニティとの共生を目指した3つの調和策を定め、施策を展開していくこととしています。

**産業との共生** **企業参入×コミュニティ**

農地を有効活用し、産地を維持するためには、外部からの企業的経営体等の参入を促進するとともに、参入後の農村コミュニティの維持強化策を実行することが必要

企業参入支援プロジェクト/地域・企業等連携型農村再生デザイン事業/一社一村しずおか運動

**環境との共生** **環境・景観×基盤整備**

地球温暖化に伴う気候変動や生物多様性の保全に対応するため、環境との調和に配慮した農業農村整備や農村における脱炭素化の取組を推進

ふじのくに美農里プロジェクト/再生可能エネルギーの導入促進/流域治水対策

**地域との共生** **地縁組織×外部組織**

ふじのくに美農里プロジェクトから農村RMOへの進化により、農村に対し多様な関心を持ち関わる都市住民や非農家等の関係人口を拡大し、集落機能を強化する施策を推進

農村RMOの形成支援/農村マイクロツーリズム/都市・農村連携プラットフォーム

# 基本施策 1 農の営みを支える戦略的な生産基盤づくり

茶や果樹、野菜等の高収益作物を対象とした「品目別基盤整備プロジェクト」により、ロボット農機等のスマート農業の実装も可能とする区画整理や暗渠排水整備等を推進するとともに、水田農業の水管理作業を省力化する「ICT水田水管理システム」の普及拡大により、産地収益力の向上を実現します。

また、3次元点群データを活用した3D設計により、基盤整備完成後のほ場の形状や勾配を立体的に見える化し、迅速な事業化を図っていきます。

# 基本施策 2 農の暮らしを育む多様な邑づくり

農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を促進するため、ふじのくに美しく品格のある邑づくりやふじのくに美農里プロジェクト等の地域ぐるみの活動を支援するとともに、地域外から活動に参加する関係人口を増やし、農村集落機能を強化していきます。

また、誰もが住み続けられる農村を実現するため、農村インフラの整備や田んぼダム等の流域治水対策に加え、脱炭素化に向けた取組により、美しく活力のある持続可能な農村づくりを推進します。

## 重点戦略 I

### 茶・柑橘等の産地収益力を強化する基盤整備の推進

- ①品目別基盤整備プロジェクトの推進
  - 茶産地構造改革基盤整備プロジェクト
  - 柑橘産地生産強化基盤整備プロジェクト
  - 高収益作物等生産拡大基盤整備プロジェクト
- ②農地集積・集約化を加速化する基盤整備の推進

#### ●茶園の区画整理



農地中間管理機関関連農地整備事業 静波地区（牧之原市）

#### ●柑橘園の区画整理



経営体育成樹園地再編整備事業 三ヶ日みかんの里地区（浜松市北区）

品目別基盤整備プロジェクトの整備面積  
KPI(2020年)累計369ha ▶ (2025年) 累計1,659ha

本県の主要作物である茶や柑橘、高収益作物（野菜等）を対象として、生産性と収益性の向上・低コスト化に向けた、区画整理、暗渠排水整備等の品目別基盤整備プロジェクトを推進

#### 農地集積の推進



山崎地区（袋井市）

#### 3次元点群データを活用した早期事業化の推進



3次元デジタルオルソ画像

## 重点戦略 II

### ICT等の新技術を活用したスマート農業の推進

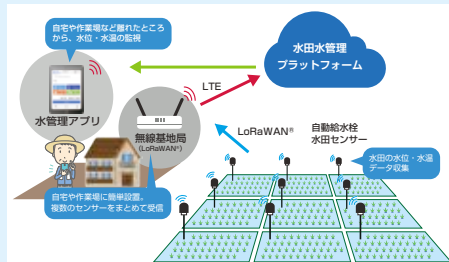
- ③ICT水田水管理システムの導入推進
- ④スマート農業の実装化を可能とする基盤整備の推進
- ⑤農業水利施設の遠隔監視制御化の推進

ICT水田水管理システムの実装化面積

KPI(2020年) - ▶ (2025年) 累計350ha

水田の水管理の省力化や節水を可能とするICT水田水管理システムの実装化

#### ICT水田水管理システム



自動給水栓



果実運搬ロボット



ICT施工

#### 農業水利施設の遠隔制御化



## 重点戦略 III

### 農地・農業用施設の保全と管理体制の強化

- ⑥ 新技術を活用した農業水利施設の更新整備の推進
- ⑦ 土地改良区の運営基盤の強化
- ⑧ 優良農地の確保

#### 農業水利施設の更新整備



トライボロジー  
(新技術の活用)

【点検・監視の強化】  
職員による機能診断・  
監視強化

#### 基幹農業水利施設の更新整備数

KPI(2020年)累計22施設 ▶ (2025年)累計82施設

ライフサイクルコストを低減するアセットマネジメント手法の活用による基幹農業水利施設の更新整備等を推進

#### 迅速かつ機動的な復旧により、農業用水の安定供給を確保



破裂した用水管を迅速に復旧

## 重点戦略 IV

### 関係人口の拡大による農村集落機能の強化

- ⑨ 地域ぐるみの活動による多面的機能の維持・発揮
- ⑩ 農業農村インフラの強化の推進
- ⑪ 地域資源を活用した農村マイクロツーリズム等の推進
- ⑫ 脱炭素社会を実現する小水力発電等の導入の推進

#### ふじのくに美しく品格のある邑づくりの参画者数

KPI(2020年)73,058人 ▶ (2025年)87,600人

地域資源の保全や次世代への継承、農村地域の活性化を図るため、多様な関係者が連携し、地域資源の保全と活用を行う「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」を推進



地域ぐるみの活動による多面的機能の維持・発揮



農村マイクロツーリズム



集落機能強化(活性化施設)

#### 本県固有の地域資源(景観・食・文化)の新たな付加価値を創造



デジタルマップ

## 重点戦略 V

### 農地・農業用施設の防災・減災対策による県土の強靱化

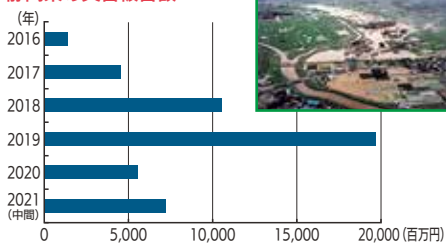
- ⑬ 防災重点ため池の耐震・豪雨・劣化対策の推進
- ⑭ 農地・農業用施設を活用した流域治水の推進
- ⑮ 農村地域における豪雨被害の防止対策の推進
- ⑯ 排水機場の遠隔監視・制御化の推進
- ⑰ 迅速な災害復興に貢献する地籍調査の推進
- ⑱ 東富士演習場の洪水等の障害防止対策の推進

#### 防災重点農業用ため池の整備数

KPI(2020年)累計216箇所 ▶ (2025年)累計346箇所

防災重点農業用ため池の改修整備工事を推進

#### 静岡県の災害被害額



豪雨災害の激甚化・頻発化



排水機場(毘沙門2期地区)



ため池の耐震工事



ため池サポートセンター



排水路整備(柿沢川南部地区)



洪水調節機能の強化



境沢川調節池(東富士)

# 静岡県の農業・農村の現状

## 農村の現状

### 《都市・農村の人口・高齢化》

本県の農村人口は直近10年間で約10万人減少しました。また、65歳以上の高齢者の比率は40%を超えており、都市部と比べ20年程度早く高齢化が進んでいます。

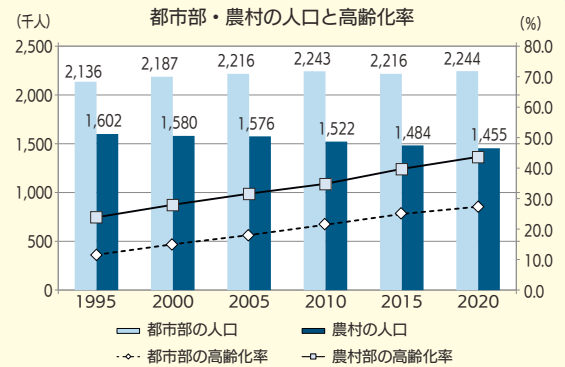
### 《基幹的農業従事者の推移》

基幹的農業従事者数は10年で68万8千人、34%減少しています。また、65歳以上の比率が70.5%と高齢化が進んでいます。

基幹的農業従事者数（人）（1990～2015は販売農家、2020は個人経営体）

区分	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
静岡県	101,692	91,176	84,297	77,893	63,958	51,235	38,720
全国	2,927,122	2,560,032	2,399,579	2,240,672	2,051,437	1,753,764	1,363,038

出典：農林業センサス



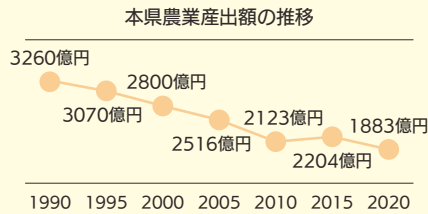
人口：人口集中地区（D1D）の人口を都市部の人口、それ以外を農村の人口とした。  
 高齢化率：D1D比率の高い静岡市、清水町、長泉町、沼津市、富士市の高齢化率（平均値）を都市部の高齢化率とした。D1Dがない地区を含む浜松市、川根本町、松崎町、南伊豆町、西伊豆町の高齢化率（平均値）を農村の高齢化率とした。

出典：県農地計画課調べ

## 農業の現状

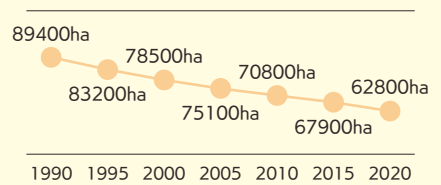
### 《農業産出額・耕地面積の推移》

本県の農業産出額は2010年以降微増傾向でしたが、2018年以降は減少に転じています。また、耕地面積は10年間で6千7百ha、9.5%減少しています。



出典：生産農業所得統計（農林水産省）

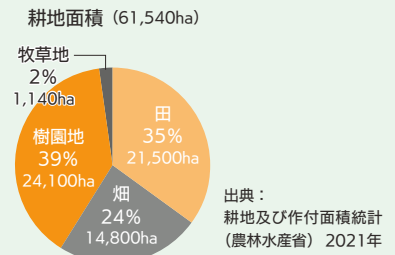
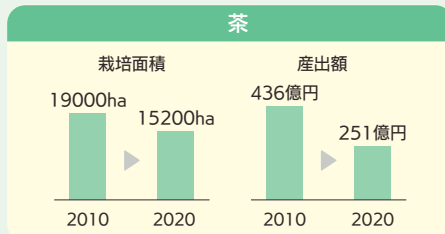
### 本県耕地面積の推移



出典：耕地及び作付面積統計（農林水産省）

### 《茶産出額の推移》

本県の茶の産出額は2000年以降急減しており、10年間で約6割減少しています。



出典：耕地及び作付面積統計（農林水産省）2021年

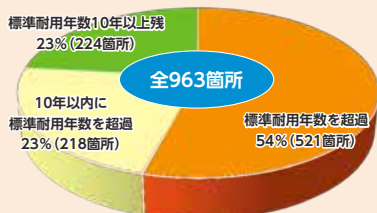
## 生産基盤の現状

### 《基盤整備済み面積・基幹農業水利施設の老朽化》

本県の水田整備率（1区画30a以上）は48.9%で全国平均を18%下回っています。一方、畑の整備率は全国平均を上回っています。また、基幹農業水利施設の約8割が10年以内に耐用年数を超える見込みとなっています。

水田の 区画 整備率	田面積 (ha)	30a 未満	30a以上整備済み面積		畑の 基盤 整備率	畑面積 (ha)	かんがい 整備率	区画 整備率
			30a以上	50a以上				
静岡県	21,900	51%	44%	5%	静岡県	42,200	37%	41%
全国	2,393,000	34%	56%	11%	全国	2,004,000	24%	64%

出典：農業基盤情報基礎調査（農林水産省）



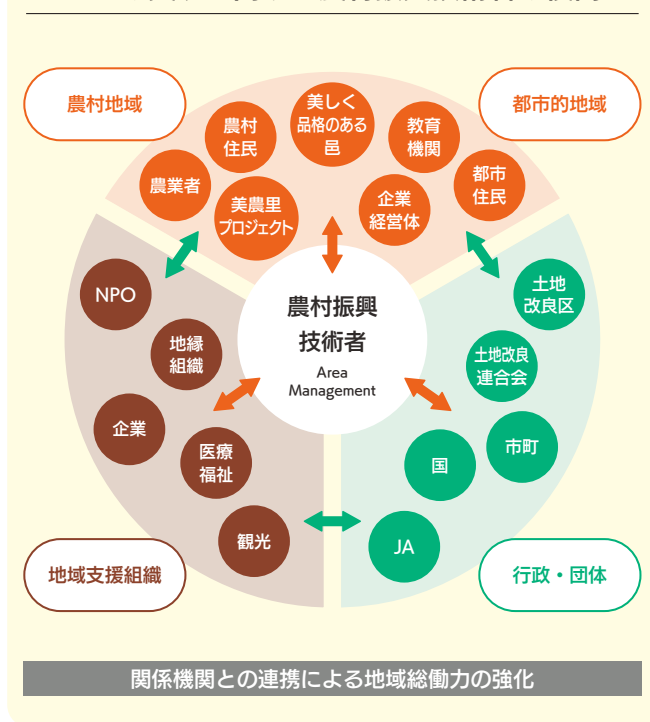
県造成基幹農業水利施設の老朽化の現状（2021年度末現在）

出典：県農地整備課調べ



# 多様な関係者との連携で築く理想の農村づくり

## 理念の実現に向けた農村振興技術者の役割



## ステークホルダーへの期待

- 農業者 (担い手)** 経営能力、意欲が高い担い手に、農地を集積・集約化し、地域経済を牽引してもらうことを期待
- 農村住民** 地域農業・地域保全には欠かせない存在であり、担い手と連携し、農村づくりに参加することを期待
- 都市住民** 都市・農村交流を通じ、農村ファンになってもらい、農村づくりに積極的に関与してもらうことを期待
- 土地改良区** 基盤整備の推進や農業施設管理等の主たる役割に加え、農業・農村振興の旗振り役となることに期待
- 市町** 農業農村整備のハード施策に加え、農業振興策のソフト施策にも積極的に関与することを期待
- JA等農業関係団体** 農業農村整備の計画段階の営農構想策定や、農村振興策に積極的に関与してもらうことを期待
- 企業** 企業が有する技術やノウハウによる、農村資源の有効活用・商品開発や情報発信力の強化に期待
- 支援組織 地縁組織** 住みたい・訪れたい、選ばれる農村をつくるため、施設・環境保全活動などに参画することを期待
- 多様な関係者** 農村に愛着を抱く、他分野も含めた多様な関係者が、持続可能な農村づくりに参加することを期待

## 関係人口の拡大による地域活性化に向けた邑の取組

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」の推進により、経済・社会・環境がバランスよく調和された「持続可能な農村づくり」に向けた支援を行い、地域づくりの新たな担い手として期待される関係人口の拡大を図ります。

### しずおか農山村サポーター『むらサポ』

農村のイベントや農作業ボランティア等の情報を、メールマガジンやSNSなどで県民に提供し、農村を応援する県民運動の拡大を図ります。

### 一社一村しずおか運動

農村と企業の資源、人材、ネットワークを活かし、双方にメリットのある活動で、農村を保全・活性化します。

### しずおか棚田・里地くらぶ

美しい景観や洪水防止、生態系保全など、多面的機能を持つ棚田の保全活動を、県民ボランティアにより支援します。

### ふじのくに美農里プロジェクト

国の「多面的機能支払交付金」を活用し、地域内の協働により農地等の保全活動、環境整備活動を実施します。

### 農福連携ワンストップ窓口

福祉事業所や特別支援学校等との連携を支援し、障がいのある方の社会参画と、農村地域の活性化を目指します。



オフィシャルウェブサイト  
[www.shizuoka-murasapo.net](http://www.shizuoka-murasapo.net)

しずおか むらサポ 検索



Instagram  
[www.instagram.com/murasapo/](https://www.instagram.com/murasapo/)



オフィシャルウェブサイト  
<http://www.fujinokuni-mura.net>

美しく品格のある邑 検索



Facebook  
[www.facebook.com/muradoki/](https://www.facebook.com/muradoki/)  
ふじのくに美しく品格のある邑づくり  
情報発信チーム『邑ドキッ!』

発行/2022年5月

発行・編集/静岡県経済産業部農地局農地計画課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

TEL/054-221-2722 E-mail/noukei@pref.shizuoka.lg.jp